

スポーツ国際戦略部会中間まとめ概要

1 意義

- ◆ 第2期スポーツ基本計画「世界とつながる」を実現するための**戦略的・具体的施策の展開**を促進するもの
- ◆ 国際的動向の国内施策への還元+国内事例の国際社会への紹介 = **スポーツ国際展開の実施**
- ◆ 関係団体の**活動への貢献**と**相互連携**に向けた**指針**

2 ビジョン

- ◆ 2021年まで：第2期スポーツ基本計画のビジョン・施策の達成
- ◆ 2030年まで：国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成にスポーツが最大限貢献

第2期スポーツ基本計画

- スポーツで
- ✓ 人生が変わる
 - ✓ 社会を変える
 - ✓ 世界とつながる
 - ✓ 未来を創る

- ①多様性を尊重する社会の実現
- ②持続可能で逆境に強い社会の実現
- ③クリーンでフェアな社会の実現

※ユネスコスポーツ大臣会合（MINEPS VI）のカザン行動計画とも方向性一致

前向きで活力に満ちた日本と
絆の強い世界の実現に貢献

社会参画・
社会的連帯
の強化

個人の
健康増進・
能力開発等
に貢献

3 ミッション・方向性

スポーツ国際展開の実行において、**国際的目的の達成を図るだけでなく、国内的目的の達成への貢献も必要**

戦略の方向性

- ①関係団体と共有すべき「共通のメッセージ」の設定
- ②国際スポーツコミュニティへの積極的な関与
- ③関係機関とのネットワーク構築の促進
- ④スポーツ国際展開に向けた体制整備と人材育成の推進
- ⑤スポーツ国際展開の効果を他分野へ拡大するための対話枠組みの構築
- ⑥限られたリソースの効率的・効果的な投入のためのターゲット明確化

5 工夫・取組

各関係者がスポーツ国際展開を実施する際に以下の点について留意が必要

- ①関係機関による行動計画作り
- ②日本の強みの特定化と共通のメッセージ等の設定
- ③国際競技大会等の戦略的な招致・開催支援
- ④国際スポーツコミュニティへの積極的な参画
- ⑤事業対象者のニーズ把握と協働
- ⑥事業のプライオリティの決定
- ⑦関係者・リソースの特定化と連携枠組みの構築
- ⑧事業の継続性・多様性の確保と民間活力との連携
- ⑨中長期での計画的な人材発掘及び育成の推進
- ⑩スポーツの成長産業化への貢献
- ⑪地域振興への貢献
- ⑫モニタリングと成果評価の枠組みの構築
- ⑬基盤整備（海外拠点、調査研究、広報活動等）